

2 男女別人口

(1) 男女別人口の推移

～ 男女とも減少、女性の割合が前回に引き続き上昇 ～

平成22年国勢調査による宮崎県の男女別人口を見ると、男性が533,035人、女性が602,198人で、平成17年の前回調査と比較すると、男性が9,078人(1.7%)の減少、女性が8,731人(1.4%)の減少となり、男女とも減少しています。

また、人口性比(女性100人に対する男性の数)は88.5で、前回に引き続き減少し、全人口に占める女性の割合が高まっています。

人口性比の推移をみると、大正9年から昭和10年までは男性が女性をわずかに上回っていましたが、戦争による男性人口の損失によって性比は減少しました。

戦後は海外からの引き揚げや第1次ベビーブームにより、人口性比はやや回復しましたが、高度成長期に再び減少し、平成2年以降は80台で推移しています。

(表2-1、図2-1)

平成22年の人口性比を年齢5歳階級別にみると、15～19歳の階級までは100を上回っていますが、20歳以上の階級ではすべて100を下回っています。

特に65歳以上では、年齢の上昇とともに女性の人口が大きく上回るため、人口性比が大幅に低下しています。

(表2-2、図2-2)

表2-1 男女別人口及び人口性比の推移

(大正9年～平成22年)

年次	人口(人)			人口性比
	総数	男	女	
大正 9年	651,097	326,610	324,487	100.7
14年	691,094	348,088	343,006	101.5
昭和 5年	760,467	383,128	377,339	101.5
10年	824,431	416,082	408,349	101.9
15年	840,357	417,180	423,177	98.6
22年	1,025,689	501,302	524,387	95.6
25年	1,091,427	535,107	556,320	96.2
30年	1,139,384	559,771	579,613	96.6
35年	1,134,590	552,285	582,305	94.8
40年	1,080,692	517,235	563,457	91.8
45年	1,051,105	498,065	553,040	90.1
50年	1,085,055	515,236	569,819	90.4
55年	1,151,587	550,207	601,380	91.5
60年	1,175,543	558,355	617,188	90.5
平成 2年	1,168,907	551,524	617,383	89.3
7年	1,175,819	556,245	619,574	89.8
12年	1,170,007	552,160	617,847	89.4
17年	1,153,042	542,113	610,929	88.7
22年	1,135,233	533,035	602,198	88.5

表2-2 年齢(5歳階級)別人口性比

(平成22年)

年齢階級	男(人)	女(人)	人口性比
総数 1)	533,035	602,198	88.5
0～4歳	25,507	24,470	104.2
5～9	26,599	25,301	105.1
10～14	29,158	27,553	105.8
15～19	28,276	27,267	103.7
20～24	22,348	24,479	91.3
25～29	27,414	29,353	93.4
30～34	32,152	33,545	95.8
35～39	34,457	36,289	95.0
40～44	29,885	32,849	91.0
45～49	32,158	35,080	91.7
50～54	36,758	39,352	93.4
55～59	42,835	44,723	95.8
60～64	44,418	47,216	94.1
65～69	32,026	36,839	86.9
70～74	29,349	36,477	80.5
75～79	26,849	36,594	73.4
80～84	18,601	30,343	61.3
85～89	8,089	19,698	41.1
90～94	2,849	9,386	30.4
95～99	633	3,002	21.1
100～	64	502	12.7

1)総数には性別不詳含む。

図2-1 男女別人口及び人口性比の推移（大正9年～平成22年）

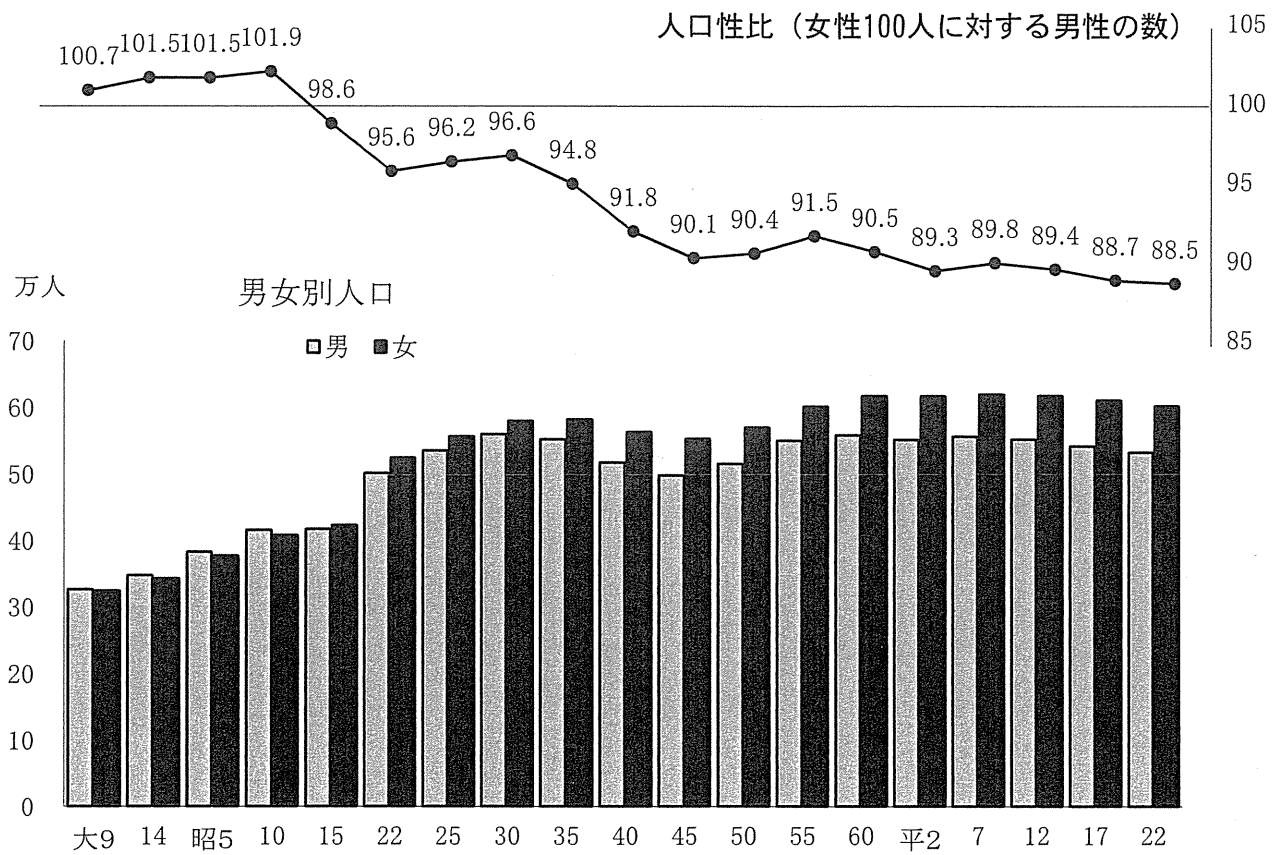
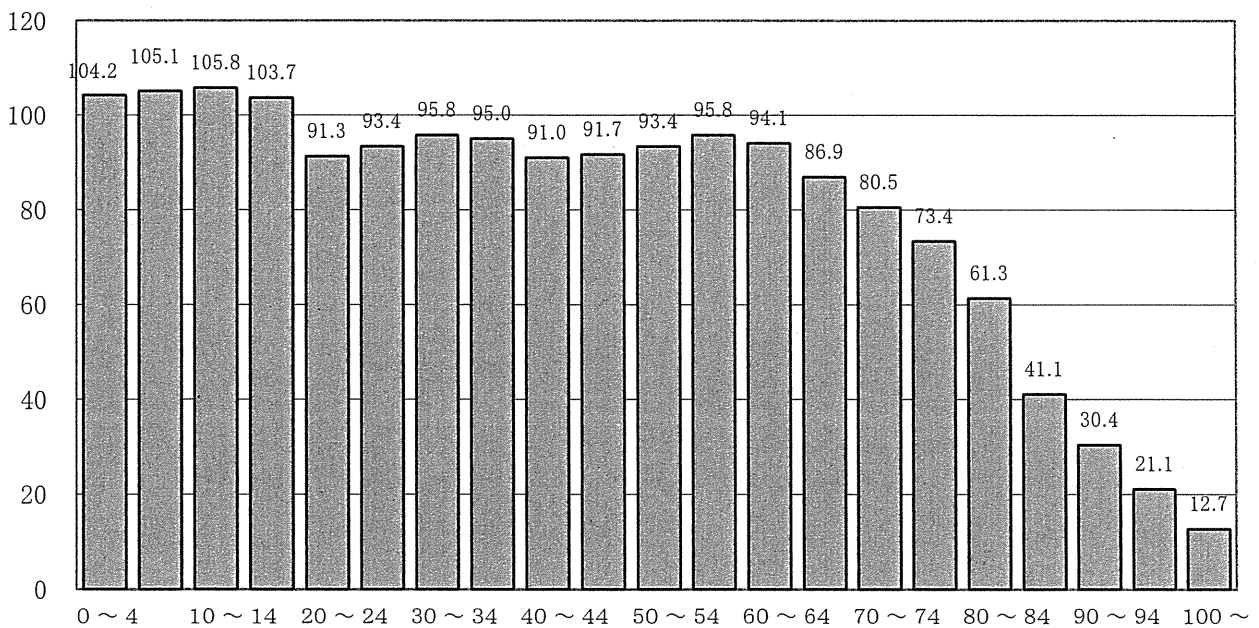


図2-2 年齢（5歳階級）別人口性比（平成22年）



(2) 市町村別の男女別人口

～ 全市町村で女性が男性を上回る ～

平成22年の人口性比を市町村別にみると、全ての市町村で女性人口が男性人口を上回り、人口性比は100を下回っています。

人口性比が最も高いのは、椎葉村で98.8、次いで新富町 97.2、諸塚村 96.5、西米良村 93.3、五ヶ瀬町 91.8などとなっています。

一方、最も低いのは、串間市で85.0、次いで三股町 86.4、綾町 87.4、小林市 87.6、国富町 87.8などとなっています。

これを平成17年と比較すると、高齢化などの影響により13市町村で減少しています。

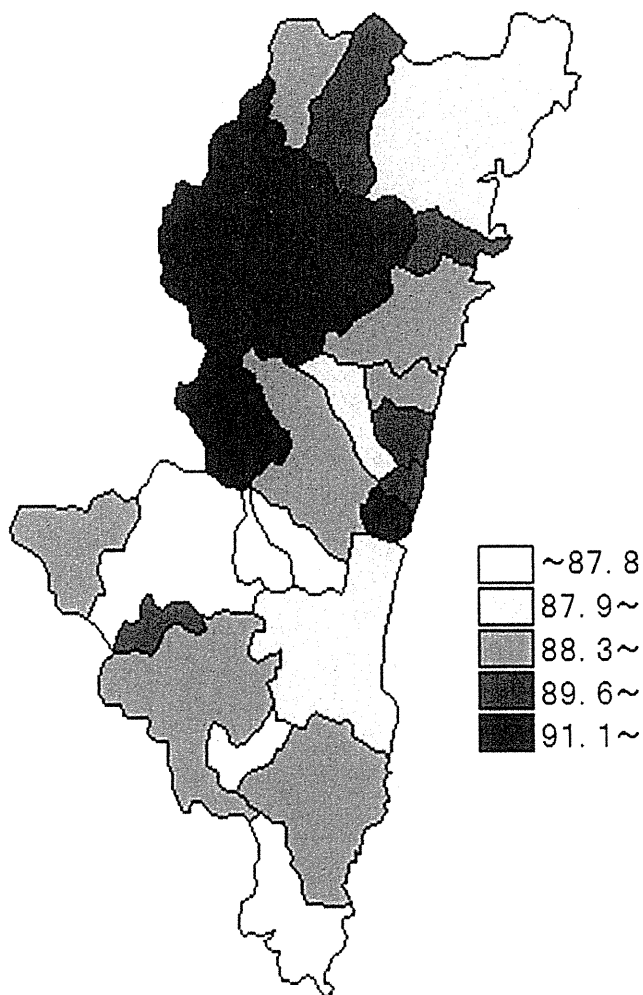
(図2-3, 表2-3)

図2-3 人口性比

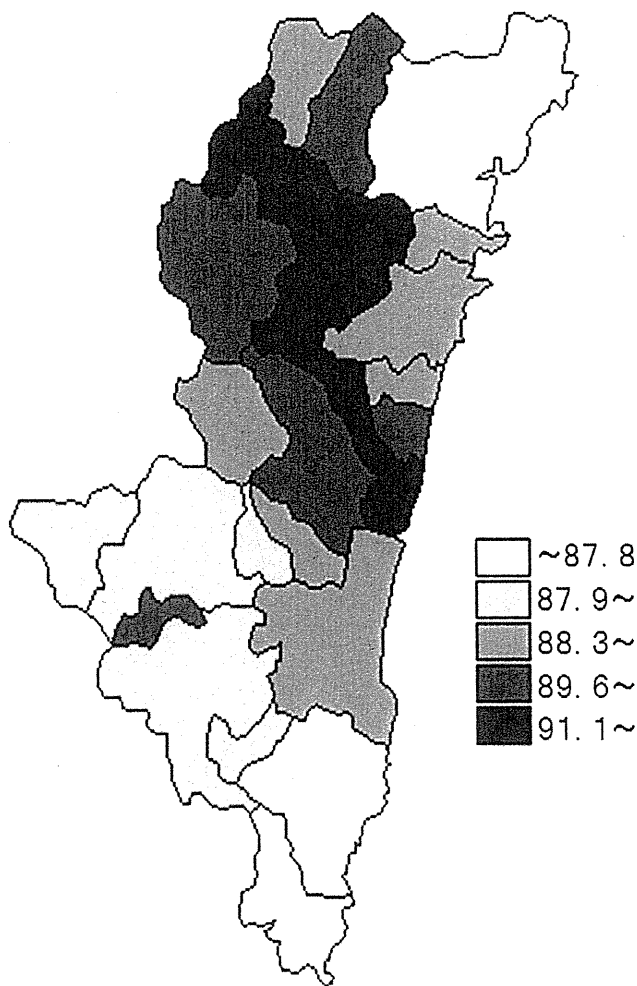
※人口性比(女性100人に対する男性の数)

(平成22年)

(平成17年)



※新市町村で色分けしています。



※新市町村で色分けしています。

表2-3 市町村別人口性比の推移（平成7年～平成22年）

市町村	平成7年	12年	17年	22年	5年ごとの差（ポイント）			平成22年人口性比順位	
					平成7年 ～12年	平成12年 ～17年	平成17年 ～22年	旧市町村 順位	新市町村 順位
県計	89.8	89.4	88.7	88.5	-0.4	-0.7	-0.2		
市部計	89.5	89.1	88.3	88.2	-0.4	-0.8	-0.1		
郡部計	91.3	90.9	90.7	90.0	-0.4	-0.2	-0.7		
宮崎市	89.9	89.7	88.8	88.1	-0.2	-0.9	-0.7		19位
(旧)宮崎市	88.7	88.7	88.1	87.5	0.0	-0.6	-0.6	34位	
(旧)清武町	104.4	99.7	96.3	93.7	-4.7	-3.4	-2.6	5位	
(旧)田野町	85.9	90.3	86.9	87.6	4.4	-3.4	0.7	33位	
(旧)佐土原町	91.6	90.4	89.8	89.7	-1.2	-0.6	-0.1	17位	
(旧)高岡町	89.8	88.1	87.9	86.9	-1.7	-0.2	-1.0	39位	
都城市	89.8	89.1	88.2	88.3	-0.7	-0.9	0.1		16位
(旧)都城市	90.6	89.6	88.4	88.6	-1.0	-1.2	0.2	21位	
(旧)山之口町	87.3	87.1	87.9	87.3	-0.2	0.8	-0.6	37位	
(旧)高城町	87.1	86.0	86.4	86.0	-1.1	0.4	-0.4	43位	
(旧)山田町	88.8	89.2	87.9	88.0	0.4	-1.3	0.1	29位	
(旧)高崎町	86.7	89.0	87.9	88.4	2.3	-1.1	0.5	22位	
延岡市	88.8	88.8	87.8	88.1	0.0	-1.0	0.3		19位
(旧)延岡市	88.7	88.6	87.7	88.1	-0.1	-0.9	0.4	28位	
(旧)北方町	92.3	93.5	90.9	91.4	1.2	-2.6	0.5	10位	
(旧)北川町	86.6	85.5	86.6	87.0	-1.1	1.1	0.4	38位	
(旧)北浦町	89.9	90.9	91.1	88.4	1.0	0.2	-2.7	22位	
日南市	86.9	87.5	87.2	88.4	0.6	-0.3	1.2		15位
(旧)日南市	86.0	86.8	86.7	88.0	0.8	-0.1	1.3	29位	
(旧)北郷町	88.2	87.4	85.3	88.4	-0.8	-2.1	3.1	22位	
(旧)南郷町	89.7	90.2	90.3	90.0	0.5	0.1	-0.3	14位	
小林市	90.5	89.0	87.9	87.6	-1.5	-1.1	-0.3		23位
(旧)小林市	90.4	89.0	87.8	87.4	-1.4	-1.2	-0.4	35位	
(旧)野尻町	89.3	88.9	88.2	86.9	-0.4	-0.7	-1.3	39位	
(旧)須木村	95.2	87.7	88.6	94.1	-7.5	0.9	5.5	4位	
日向市	90.0	88.8	88.6	89.5	-1.2	-0.2	0.9		12位
(旧)日向市	89.9	88.7	88.8	89.8	-1.2	0.1	1.0	16位	
(旧)東郷町	90.9	89.5	86.5	86.4	-1.4	-3.0	-0.1	41位	
串間市	87.2	85.7	85.9	85.0	-1.5	0.2	-0.9	44位	26位
西都市	89.4	89.3	89.8	89.4	-0.1	0.5	-0.4	19位	13位
えびの市	89.1	88.5	88.1	88.3	-0.6	-0.4	0.2	26位	16位
北諸県郡	91.3	89.3	88.1	86.4	-2.0	-1.2	-1.7		
三股町	91.3	89.3	88.1	86.4	-2.0	-1.2	-1.7	41位	25位
西諸県郡	89.6	91.0	90.6	90.2	1.4	-0.4	-0.4		
高原町	89.6	91.0	90.6	90.2	1.4	-0.4	-0.4	13位	9位
東諸県郡	89.7	89.3	88.9	87.7	-0.4	-0.4	-1.2		
国富町	89.6	89.6	89.2	87.8	0.0	-0.4	-1.4	32位	22位
綾町	90.1	88.5	88.1	87.4	-1.6	-0.4	-0.7	35位	24位
児湯郡	93.3	92.7	92.8	91.6	-0.6	0.1	-1.2		
高鍋町	98.4	94.2	93.7	90.5	-4.2	-0.5	-3.2	12位	8位
新富町	97.9	97.7	96.3	97.2	-0.2	-1.4	0.9	2位	2位
西米良村	95.3	91.7	89.1	93.3	-3.6	-2.6	4.2	6位	4位
木城町	90.1	95.9	93.6	87.9	5.8	-2.3	-5.7	31位	21位
川南町	88.5	88.3	90.4	90.6	-0.2	2.1	0.2	11位	7位
都農町	86.2	87.7	89.1	88.3	1.5	1.4	-0.8	26位	16位
東臼杵郡	91.1	90.3	90.5	91.3	-0.8	0.2	0.8		
門川町	89.5	89.3	88.8	89.6	-0.2	-0.5	0.8	18位	11位
諸塚村	91.1	91.5	91.6	96.5	0.4	0.1	4.9	3位	3位
椎葉村	96.3	95.5	99.4	98.8	-0.8	3.9	-0.6	1位	1位
美郷町	92.2	89.9	90.6	91.1	-2.3	0.7	0.5		6位
(旧)南郷村	90.6	88.6	90.3	93.2	-2.0	1.7	2.9	7位	
(旧)西郷村	92.7	89.3	90.8	88.4	-3.4	1.5	-2.4	22位	
(旧)北郷村	93.7	92.5	90.8	92.3	-1.2	-1.7	1.5	8位	
西臼杵郡	88.6	89.3	89.5	89.9	0.7	0.2	0.4		
高千穂町	87.8	88.7	88.3	89.3	0.9	-0.4	1.0	20位	14位
日之影町	86.1	88.0	89.9	89.9	1.9	1.9	0.0	15位	10位
五ヶ瀬町	93.9	92.5	93.2	91.8	-1.4	0.7	-1.4	9位	5位

(注)表中、(旧)とあるのは、合併前の市町村の数値を表し、それ以外は、合併後の現在の市町村の数値を表す。